

# 平成27年産粗飼料の傾向

分析グループ 川越 大樹

平成27年度は、6月22日から7月上旬まで長雨となり、思ったように刈取りが進められなかった地域もあったのではないのでしょうか。この長雨の影響が成分値にも見られています。弊社分析グループでの分析結果を基に、各種類での傾向を示しますので、参考として頂ければ幸いです。

## ● 1番牧草サイレージの傾向

平成27年産1番牧草サイレージ（GS）は、粗蛋白質（CP）が例年に比べやや低くなっています（表1）。また、リグニンやOCWの値は、例年に比べ低く、TDNは高い傾向になっています。

一方、OCW中のObの占める割合（Ob/OCW）は、ここ数年で最も高い値です（図1）。一般的に刈取りが遅れ、OCWが高いGSほどOb/OCWやリグニンの値が高くなる傾向にありますが、平成27年産1番GSでは、OCWやリグニンの値は低いものの、Ob/OCWが高い傾向です。平成27年産1番GSの繊維の消化性を判断する際は、Ob/OCWやOaの値だけでなくリグニンの値にも注意する必要があります。

表1. イネ科主体1番GSの平均値（乾物中%）

	pH	水分	CP	TDN	OCW	リグニン	NFC	粗脂肪
H27	3.98	75.8	11.0	58.9	69.4	4.28	13.1	3.30
H26	4.05	74.1	10.9	57.3	70.9	4.68	12.4	3.09
H25	4.16	75.7	11.4	58.1	69.7	4.81	13.3	3.19
H24	4.16	74.3	10.9	60.4	67.0	4.28	15.4	3.32
H23	4.19	75.6	11.6	58.5	69.5	4.90	11.9	3.61
H22	4.29	74.7	11.5	57.6	70.7	5.23	10.7	3.68

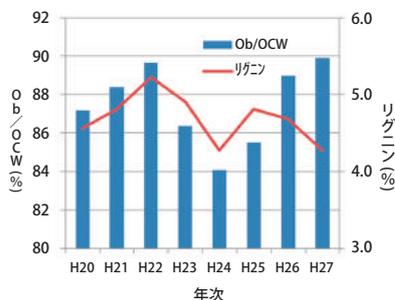


図1. 1番GSのOb / OCWとリグニンの年度変化

## ● 平成27年産1番牧草サイレージの特徴

長雨が続き続いた6月22日以降に刈取られた群と、6月21日までに刈取りが行えた群の成分値を表2に示しました。6月21日までに刈取った群はCPやTDNが高く、適期に刈取りができていたと思われます。しかし、Ob/OCWは刈取り日に関係なく高い傾向となっております。

各地域の傾向を表3に示しました。弊社営業所の豊富や帯広地域に比べ、釧路や別海地域は、OCWがやや高く、CPやTDNはやや低い傾向になっています。これは、道東地域の刈取り適期と長雨が重なってしまい、刈遅れの傾向になっているためと考えられます。平成27年産1番GSの品質評価の際、6月21日までに刈取りできたかを一つの指標にして頂ければと思います。

表2. 6/22を境とした平成27年産1番GSの成分値（乾物中%）

	CP	TDN	OCW	リグニン	NFC	粗脂肪	Ob/OCW
6/21以前	11.9	60.2	67.3	3.94	14.0	3.49	88.7
6/22以降	10.4	58.1	70.6	4.47	12.5	3.19	90.6

表3. 地域別のH27年産1番GS成分値（乾物中%）

	pH	水分	CP	TDN	OCW	リグニン	NFC	粗脂肪
豊富	4.03	75.2	12.0	59.8	66.7	4.04	14.7	3.38
帯広	4.07	73.1	11.3	59.3	68.1	4.22	13.9	3.31
釧路	3.90	76.5	10.8	58.6	69.8	4.28	12.4	3.31
別海	3.96	77.3	10.7	58.5	70.9	4.36	12.2	3.25

## ● トウモロコシサイレージの傾向

平成27年産トウモロコシサイレージの成分値は、例年に比べCPがやや低いものの、OCWの値は低く、NFC、デンプンやTDNは高い傾向が見られ、品質は良好です（表4）。しかし、10月上旬の暴風により倒伏被害のあったものでは、不良発酵やサイレージ品質の低下も懸念されますので、特にご注意をお願い致します。

表4. トウモロコシサイレージの平均値（乾物%）

	pH	TDN	CP	ADF	OCW	NFC	デンプン	粗脂肪
H27	3.82	72.1	8.01	22.1	42.3	41.9	29.6	3.49
H26	3.80	71.4	8.14	23.1	43.7	40.3	28.0	3.51
H25	3.79	70.7	8.26	24.5	46.3	38.2	25.7	3.33
H24	3.97	71.2	8.43	23.7	44.8	39.8	27.4	3.19
H23	3.84	70.1	8.11	24.8	46.8	38.5	26.0	2.94
H22	3.85	71.3	8.32	23.1	45.2	39.2	27.7	3.23

## ● まとめ

平成27年産1番GSは、例年に比べ栄養価は高い傾向です。しかし、6月22日から長雨が続き、これ以降に刈取られたGSは、刈遅れ傾向となり、栄養価が劣る傾向になっています。また、この長雨の時に刈取られたGSでは、不良発酵にも注意が必要です。今回報告した傾向が、すべての粗飼料に当てはまるわけではありませんが、今後給与される粗飼料の目安として頂ければ幸いです。